

## 電波時計（掛時計）取扱説明書

### ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- ソーラー発電との併用で電池長持ち

お買い上げありがとうございます。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

### 発売元 リズム時計工業株式会社

本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

**お問い合わせ先 ■お客様相談室 フリーダイヤル ☎0120-557-005**  
受付時間 9:00～17:00（土日および当社休日を除く）

お問い合わせの際は、時計裏面に表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。 例 4MY○○○

### アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について  
この時計の修理用性能部品（電子回路等）は製造打ち切り後、7年間で基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。
- 修理可能期間について  
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合  
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）




(Y1009)

## 安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）


ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。


### ■表示の説明について


表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

- |  |   |
|--|---|
|  「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。           |  してはいけない「禁止」内容です。    |
|  「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |  必ず実行していただく「強制」内容です。 |


### ■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。  
**分解禁止**

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。  
**注意**

### ■使用場所について

-  下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。  
**禁止**
- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

## 電池のご注意（電池の正しい使い方）


### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| ●プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。 | ●古い電池と新しい電池を混ぜない。      |
| ●種類の異なる電池を混ぜない。        | ●長期間使用しないときは電池を取り外す。   |
| ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。   | ●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。 |
| ●電池を新しくするときは、全部取り替える。  | ●幼児の手が届かないところに置く。      |


### 電池の種類について


この時計は、長期間電池を使用しますので、必ず指定のアルカリ乾電池を使用してください。指定以外の電池では、製品仕様より短い期間で電池の交換が必要になったり、電池からの液もれが発生するおそれがあります。

### 取り扱いについて

-  電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。
- 電池に傷をつけたり、分解しない。
  - 電池をショートさせない。
  - 電池を充電しない。
  - 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

### 液もれが起きてしまったとき

 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。


 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

### 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

### 電池の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。

 火に入れると破裂の原因となり危険です。  
**注意**

## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水をやわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

## 時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。
- 電池を取り外してください。

## 電波時計について

### 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（http://jjy.nict.go.jp）

### 標準電波の送信停止について

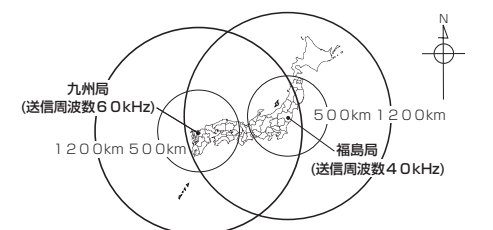
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

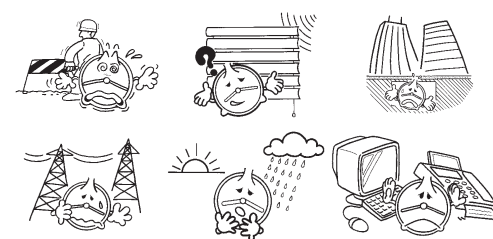


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

### 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



## 電源について ..... ソーラー発電と電池

この時計は、電池とソーラー発電で駆動します。ソーラー発電は、電池の消耗を補い、電池の寿命を最長で約5年に延ばします。

○ご使用になるときには、必ず電池をセットしてください。

○ソーラー発電をしても蓄電しません。

### ■ソーラー発電（光を電気に変える）

#### ▶設置場所の条件

時計正面で200Lx以上の照度があり、1日に8時間以上受光出来る場所。リビングルームなど日中外光が入り、夜も照明時間が長いところが望ましいです。逆にベッドルームなど照明時間が短いところではソーラー発電が十分行えないため不向きです。発電が十分に行えない環境では、電池の消耗を早めます。

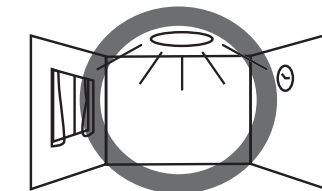
#### ▶明るさの簡易的な確認方法

- ①電池を入れてから約16分経過後に電池を抜く。
- ②秒針が1秒ステップで動きつづけられれば、発電できる明るさです。
- ③確認後は電池入れてください。

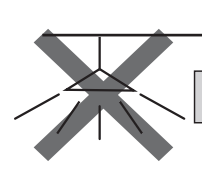
※照度とは

照らされた場所の明るさのことを照度と呼び、単位はLx（ルクス）です。

※時計に直射日光を当てないでください。ソーラーセルの発電効率が低下したり、外装部材の変色や劣化を招きます。



日中、外光が入り夜間も照明がされるリビングなど



つり下げ型照明で光が十分に当たらない

※時計前面を照明しても、明るさや受光時間が不足すると十分な発電ができません。

## おもな製品仕様

時間精度	●標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒以内 時針/分針 目盛りに対して±3度
受信局	●標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20秒以内(常温中)
使用温度範囲	-10～+50℃ *結露しないこと
ソーラー発電	アモルファス ソーラーセル 室内用
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個
電池寿命	1日当たり200Lxで8時間光発電した場合約5年 電池のみで約2年 いずれの場合も標準電波の受信に成功し、1日当たり8時間秒針が停止しているとき
電波受信機能	標準電波受信により時刻修正
受信局	福島局、九州局自動選択
受信ON/OFF	切り替え可能
受信回数	最少 1日に1回 最多 1日に6回
受信開始時刻	2時、3時、4時、12時、13時、14時 各時間帯の16分20秒。 午前2時16分20秒は必ず受信を行う。
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して12時位置に秒針を停止
補助電池交換時期	常時12時位置に停止
お知らせ機能	

- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

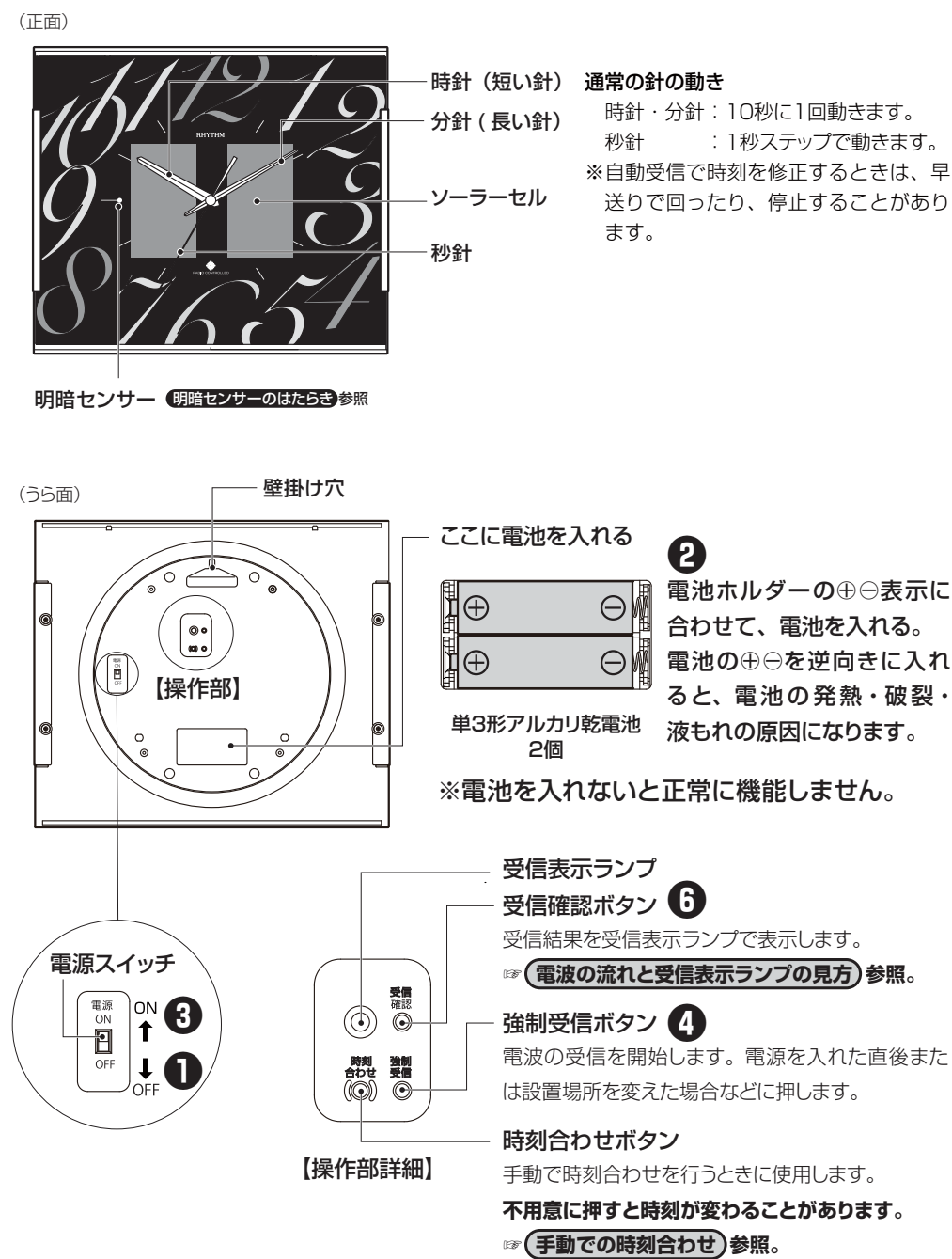
### 付属品

単3形アルカリ乾電池	2個	木ねじ	1個
取扱説明書	本書	保証書	1枚

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いません。

図は操作説明用ですので、実際と異なることがあります。



### 明暗センサーのはたらき……暗くなると眠る秒針

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針を12時位置で停止させます。昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

### 電池の交換時期お知らせ機能……秒針が停止

電池の交換時期になると、秒針が明るいところでも12時位置に停止したままになります。そのまま放置すると電池からの液もれや誤作動の原因になりますので、速やかに新品の電池にすべて交換してください。

- 交換時期になると標準電波の受信を行いません。
- 時針と分針は交換時期になってから約1ヵ月動きます。

### ◆ 電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池を長期間使い続けると電池からの液もれが発生しやすくなります。電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても5年に1回定期的に交換する。



#### ▶ 交換用の電池について

- ① 同じ使用推奨期限の単3形アルカリ乾電池を2個用意してください。電池に「使用推奨期限」が月一年の順に表示されていますので、目安として交換日より4年以上先のものをご使用ください。  
例：2015年3月に交換するときは、03-2019より先の表示があるもの。
- ② 同一の電池メーカーで同一種類のアルカリ乾電池。
- ③ 未使用の電池。



#### Q ソーラー発電ができない環境で何年動きますか

電池のみでは約2年間です。

付属の電池は、工場出荷時に入れていますので、2年に満たないで電池の交換が必要になることがあります。

### 電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える  
ベランダや電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くように設置し、強制受信ボタンを押して受信を開始してください。
- 時刻を合わせて使用する  
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

**電波を受信できないときや意図的に時刻を変えたい場合は、手動で時刻を合わせることができます。**

### 手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

※電波受信機能のON/OFF操作参照。

#### 時刻合わせボタンを押すと針が動き始めます。

- 時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
- 時刻合わせボタンを押しつつけると早送りで動きます。
- 時刻合わせボタンを押しつつけると秒針は12時位置に停止します。

#### 秒針の動きについて

時刻合わせボタンを離れたときに、ゼロ秒に設定されます。秒針が12時位置に止まっていなかったときは、早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

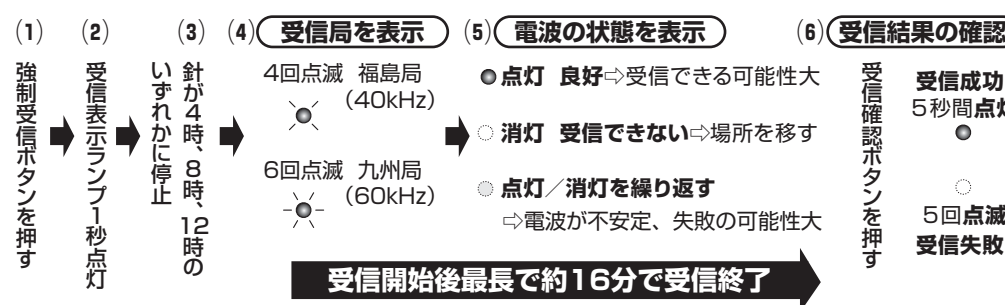
## 使用方法

標準電波を利用しないで、時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

### ◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

- ① 電源スイッチをOFFにする
- ② 電池を入れる  
電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れます。
- ③ 電源スイッチをONにする
- ④ 強制受信ボタンを押す…… **受信の流れと受信表示ランプの見方**  
受信表示ランプが点灯して、針が12時、4時、8時のいずれかに移動して、受信が終わるまで停止します。  
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。  
※受信が終わるまでボタン操作をしないでください。
- ⑤ 時計を掛ける  
**時計の掛け方**に従い、時計を確実に掛けてください。
- ⑥ 受信開始から16分後に受信結果を確認する  
受信確認ボタンを押してすぐに離すと、受信表示ランプが受信結果をお知らせします。  
5秒間点灯：受信成功 (正しい時刻)  
5回点滅：受信失敗 (不正確な時刻) → **電波を受信できない場合**へ  
2回点滅：受信機能がOFF  
消灯したまま：受信中  
○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときには、場所を変えて④からやり直してください。  
○受信表示ランプは、24～25時間以内の受信結果を表示します。

### 受信の流れと受信表示ランプの見方



電波サーチ機能の使い方……電波を受信しやすいところを探すには

- ① 窓際やベランダで(5)まで行い、受信表示ランプが点灯していることを確認します。  
▶ 受信表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。
- ② 時計を掛けたいところに移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。  
※同じ部屋の中でも、電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

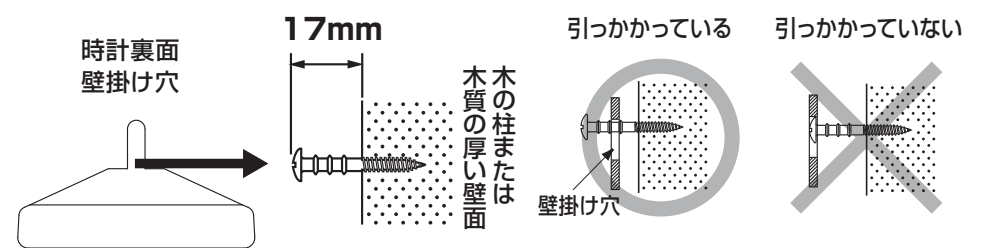
### 時計の掛け方

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 強制  
○ 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじや取付金具)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 注意  
○ 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。  
○ ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

### 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



### その他の壁面の場合

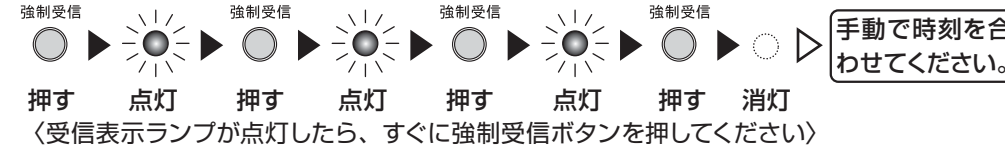
- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

### 電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクオーツ精度になります。

#### ■電波受信機能をOFFにするには(受信機能を無効にするには)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときは、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

#### ■電波受信機能をONにするには(有効にして受信を開始するには)

工場を出荷するときには電波受信機能はON(有効)になっています。OFFの状態からONにするときには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



#### ご注意

- ※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。
- ※電池を取り出しても設定を長期間保持しますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。